

2019年度

事業報告

特定非営利活動法人 就労ネットうじ

ゆめハウス

(就労継続支援A型・B型)

2019年度事業報告と2020年度にむけて

2019年度は認可を受けて3年目のスタートとなります。

大切にすることとしては、一人ひとりの働きを社会の中に具体化する実践として「多様な働き方を指す」と位置づけました。

現在、他団体、企業等の連携事業は種目としては26種（昨年21種）の事業になりました。検討を進めていく中では個々の状況から次へ展開していく人や、時には余儀なく中断をする人、それぞれの状況に応じ多様な働き方を柱に取り組みを進めてきました。

また利用者の自治活動においては、昨年度より「ゆめ会議」として動き出し一つずつ決定していく仕組みづくりが機能し始めています。

就労継続支援A型事業は、「多様な働き方と最低賃金の確保」を柱とし展開してきました。特に特別清掃では新たな業務場所がつながりとともに広がり、新たな経験の場として次年度につながる手ごたえを感じています。またグループ就労ではB型の利用者とともにこの一年をかけた実績を積み上げた結果、臨時業務への対応と合わせ定期作業日も増えることとなりました。今後も作業効率を上げながらも利用者一人ひとりが「誇り」をもてる働き方の実践を進めていきます。

就労継続支援B型事業では、「一人ひとりの多様な働き方と工賃向上を目指します」とし、個別性を大切に進めました。引き続き異業種含め広く接点を持ち、施設外支援や就労への新たな開拓と実践を進めるとともに、ハローワークとの連携や企業見学、個別に応じた他事業所の見学や体験等も大切な動きとして進めています。

啓発においては、継続して取り組みを進めている企業からの新人社員ボランティア研修や多様な事業を通して理念を伝えていく事と、新たな手法として、法人10周年記念事業の中で絵本作りに取り組んでいます。今後新たな手段として次年度へ取り組みを継続していきます。

情勢では、次期報酬改定へ向け不安な動きが始まる中、京都市においては正規職員採用試験に関する問題報道がありました。平成28年4月1日に施行された「改正障害者雇用促進法」が全く機能していない状況と言えます。今回のような断片的な判断は、まさに一昨年の中省庁による障害者雇用水増し問題にも共通する組織風土として考えさせられ、まさにこの風土こそがバリアにつながる大きな要因だと捉えています。

また年度末からは新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みを、行政と連携し進めています。まだまだ予断の許さぬ状況ではありますが、利用者・職員の生活と健康と命を守るため感染予防の徹底を進めていきます。

このような現況だからこそ、引き続き「ともにある」の理念を掲げ、多様な視点と相互作用を活用し、目の前の実践を進めていく事を大切にします。

クリーンねっと（就労継続支援A型）

（全体）

日々の作業内容、作業姿勢にいたるまで質の向上を図り、安定したリズムで作業に取り組む事ができました。

日々の積み重ねにより、身につけた技術をもとに清掃の日常的なスキルアップを目的とした取り組みとして、定着してきた土曜日の単独の清掃業務（1名）での施設外支援にも継続して取り組むことができました。

利用者がチーム、集団としての意識を高めるため利用者同士の意見等の話し合いの場を定期的に設け、多様な働き方を軸に置き、チーム作りや働く姿勢等個人のスキルアップとチームワークの向上、積極性や自主性、意欲的な働きを身につけるように心がけました。

新しく取り入れた業務や、清掃以外の施設外就労先を設けたことも、作業の幅を広げ、さらなるステップアップを図ることに繋がりました。

また、週20時間以上の勤務を維持し、雇用者としての自覚を持って日々の業務に取り組むことを目指し、個別支援計画をもとに進めています。

また今後の課題として、最低賃金の増加に伴った賃金支払いのバランスの確保が挙げられます。変動していく最低賃金の額に適応した賃金支払いに近づけていく事とあわせ、個別支援計画やモニタリングにおける本人との相談を通し、「多様な働き方」を継続し目指していきます。

（利用者）

A型利用者数 7名（2020.4.1現在）

A型利用者1名 B型へ移行

B型実習生1名 A型雇用

特別清掃時、専門機器を扱う利用者の増加。

基本通所時間 10時～16時

労働時間 週20時間以上30時間未満

通所人数 1日 4～5名

（作業場所）

- ・産業振興センター 全館清掃（日常清掃・特別清掃）
- ・塔の島トイレ清掃
- ・東宇治地域福祉センター（日常清掃・特別清掃）
- ・円蔵院
- ・サクラハイツ
- ・宇治田原ソレイユハイツ（2棟）
- ・福祉会館浴室清掃
- ・ライオンズマンション宇治第2（日常清掃・特別清掃）
- ・伊勢田地区公園除草作業（5ヶ所）
- ・小倉明星園デイサービスセンター（日常清掃・特別清掃）
- ・大山医院（日常清掃・特別清掃）
- ・その他 特別清掃依頼に対応（年間1～2回）

株式会社 オーテック（施設外就労）

（実施曜日） 月・木・金曜日

（実施時間） 13：30～15：30

（利用者） A型 2名
B型 3名（A実習）
(1日3～4名)

（業務内容）

食品パック詰め

具体的には、千切り大根と南瓜の規定数量を計り、ふたを閉める

（評価）

昨年度からの新たな施設外就労先です。

4月より行い、当初は月・金曜日の週2回でしたが、11月より月・木・金曜日の3回になりました。常時利用者4名、職員1名で作業をしています。当初は2時間で450パックほどの出来でしたが、今では平均して650パックほどできるようになりました。利用者が作業に慣れてきたことと、計る手をできるだけ止めないように、材料の残りの量を考慮しながらトレイを出す、視覚支援として規定数量を書いた札を用意するなど、工夫をしました。

また夏の御中元の繁忙期には、スペースの確保が難しいため1か月ほど施設外就労ができませんでした。年末の繁忙期には、別の特別作業としてお餅の袋詰め、おせちに詰める田作り、クルミなどの計り作業を施設外就労先の従業員とともに作業することができましたことは、業務幅を広げていく大きな成果となりました。

通常は、従業員と別ライン（ゆめハウスのチームのみ）で作業をしているため、利用者の作業導入としても、安心して取り組んでいます。

今後も継続して、A型の施設外就労・B型のA実習先として定着できるように支援を引き続き行います。

ゆめハウス（就労継続支援 B 型）

（全体）

多様な作業種目や日々の活動の中で、それぞれの個別性とニーズを捉えながら、A型実習も含めた中で施設内外に新たな作業も加わり、日々職員の動きを調整しながら活動を進めてきました。

就労に向けた動きの中では、異なる業種や関係機関との連携をしながら、就職希望者が改めて自身と向き合う機会となり、経験として大きな糧を得ることができました。

自治組織として「ゆめ会議」が2年目を迎えました。イベントでの出し物、ゆめハウスでやりたいこと、行事の内容などを中心に話し合いを行っており、自発的な発言が少しずつ増えてきています。その中でクリスマス会にボーリング場へ行ってボーリング、事業所内でプロジェクターでの映画鑑賞会などをしました。また、今年度は利用者の余暇として日帰り旅行を4月（大江戸温泉物語：宴会等）と2月（ナガシマスパーランド）の2回実施しました。例年は年度に1回（主に春ごろ）の実施ですが、2月に行われたエコボール全国集会在三重県桑名市で行われたことや旅行アンケートの行き先希望で遊園地を希望する声も多数あったことから、その意向を汲んでナガシマスパーランドへ行く運びとなりました。余暇の内容に幅ができ、日々の活動にメリハリが付き、生活の充実につながっています。

10周年記念事業の中で啓発を目的とした絵本（法人理念を主とした内容）の作成をし、宇治市へ寄贈し市内の小学校へ分配されることになりました。次年度以降、絵本を活用した啓発的な活動の展開を視野に入れていきます。

次年度に向けては、引き続き多種多様な作業種目の強みを活かし、本人の特性も考慮に入れながら、様々な経験を積み重ねることで自信を深めていけるよう取り組みを進めていきます。

（利用者）

B型利用者数 25名（2020.3.31 現在）

A型実習体験数 3名

A型雇用契約者 1名

施設外支援 4名

基本通所時間 10時～16時

通所人数 1日 5～18名

（作業内容）

- ・ゆめカフェ（毎週金曜日）
- ・工房
- ・出張喫茶（物品販売）＊出店販売年間 161回
- ・清掃 6ヶ所
（服部医院・森田ビル・宇治市役所除草・こせい舎・米坂墓地・宇治市総合福祉会館【A実習】）

- リサイクル（古紙、プルトップの回収、販売。ペットボトルキャップの回収は終了）
- 下請け（昇苑…組みひも、田辺染工…着物解体）
- 製菓
- 啓発（企業新人研修受け入れ・講演）
- 企業実習

ゆめカフェ

(実施曜日) 毎週金曜日 (月4回～5回)

(実施時間) 11:30～14:00

(利用者) 5名ほど

- ・ 一回につきおよそ30食程度の食数ができます。
消費税引き上げにともないランチ50円値上げしています。
(1食550円・ドリンク付き650円)
- ・ 2012年からはじめ8年目になります。
- ・ 城陽支援学校より実習生受け入れ(4名)

(評価)

年度初めから調理を担当する職員も変わり、今までのようにお客様に喜んでいただけるように、厨房会議を重ね、試行錯誤しながら一年で客数、料理等、定着する事ができました。

また、提携している農家さんから野菜を安く買い取り、材料費を抑えて、売り上げにつなげる事ができました。

利用者も配膳、洗い物、コーヒー担当と割り振りを決め、毎回同じ仕事にならないように作業に取り組みました。

ゆめカフェ前日(木曜日)の仕込みも、利用者に入ってもらい職員と共に、野菜のカット、料理の仕方など指導しながら、カフェの最初から最後まで利用者に携わってもらえるように作業に取り組みました。

また2018年6月～「食品衛生法等の一部を改正する法律」が公布されました。それに伴いHACCP(ハサップ)に沿った衛生管理が求められており、衛生管理表など作成し毎日習慣化してチェックし、衛生管理の重要性と食品の安全性確保に努めていくよう心掛けていきたいと思えます。

出張喫茶(一部物品を含む)

- れもんカフェ(認知症カフェ) 年間5回 出店
- 心身障害者福祉センター (京都府社会福祉事業団)
定例出店 毎月最終火曜日 年間 12回
- 介護教室 (宇治市小倉明星園)
第1・2・4木曜日 年間32回 (コロナにより3月の販売なし)
- 宇治市市役所・京都府振興局 販売 年間20回
- オープンカフェ 年間8回
今年度から 2事業所からの依頼により、お菓子の委託販売
- 他の市民団体 NPO 法人等の出店依頼対応
(コロナにより2月後半から3月末までのイベント中止)
- 生涯学習センター販売 水・土 年間84回(定例出店プラス販売含む)

評価

今年度は消費税 UP に伴い、お菓子のマドレーヌを120円、クッキーを150円に値上げしましたが、売り上げが落ちることはなかったです。

他事業所の F∞l sweet 様、スマイルワーク大久保様より依頼があり出店時のお菓子の受注を月一回頂いております。また、1月からゲストハウス KAMONINN 様からの依頼により、ウエルカムクッキーを客室に置かせていただけることになり、月初めに納品させて頂いております。

4月から制度化される表示ラベルや HACCP についての研修、講師を招いての職員会議や研修を通して職員全体で、今後の制度化導入に向けての意識付けを行いました。

HACCP 導入のための記録化なども検討しながら進めていきたいと思っております。

また、従事していた利用者1名がA型に移行した事に伴い、新たな利用者も加え、一緒に作業工程など見て進めながら、丁寧に作業していくことの重要性、少し慣れてきたらテンポアップしていくことなど個々のスキルアップに繋げていけるように、意識できた1年となりました。

工房（自主製品）

さをり織り製品

- ・ ショール(京都府敬老祝い品) 40枚納品
- ・ 染和紙織(念珠入れ・通帳入れ・名刺入れ・ティッシュケース・コースター)
(コースター)
 - ・ 発注元 いたるセンター(ほっとはあとセンターより)
 - ・ 宇治市人権啓発物品 100枚
 - ・ 10周年記念品として 225枚
 - ・ 宇治市障害課へ 41枚
- (ティッシュケース)
 - ・ 宇治市スポーツ大会参加賞として 60枚

ぶらり嵐山 ショップ 各種出店販売で 販売

刺し子製品

(ふきん)

- ・ 中山東町内会 112枚
- ・ 環境企画課から 17枚
- ・ ゆめハウスより年末御礼品として 60枚

(ハンカチ)

- ・ ゆめハウスより年末御礼品として 60枚

ショップ 各種出店販売で販売

染紙

- ※ ミニうちわ ・ 京都府山城広域振興局より 3000個
- 染紙 ・ 伊勢田学区福祉委員会 100枚

その他

箱編み製品(マフラー・帽子・ネックウォーマー・レッグウォーマー)

手編み製品(座布団・アクリルたわし・ペットボトルカバー)

ソックラビット NaNairo ストラップ

(評価)

今年度からの試みは、刺し子ハンカチをゆめハウス風アレンジし、年末御礼品としてゆめハウスよりいつもお世話になっている企業の方、団体の方 事業所の方に年末の挨拶にお配りしました。また、京都府の取り組みの人権強調月間の啓発物品※も前年度よりも個数も、単価もあげて頂き納品することができました。毎年この取り組み(啓発物品)に納品できるように、今後も試行錯誤しながら、日々自主製品の物作りの考案に励んでいきたいと思えます。

エコボール(硬式野球ボールの修繕)

(協力学校・チーム)

- ・大阪産業大学
- ・奈良県立香芝高等学校
- ・高山西高等学校
- ・高槻リトルリーグ
- ・岐阜中濃ボーイズ
- ・寝屋川中央リトルシニア

(年間修繕数) 789球

(評価)

今年度は新たに2校の高等学校と、3チームの団体との繋がりを頂けました。エコボールに取り組む利用者も増え、安定して取り組めるようになってきました。ボールの納品時には大学生の試合を観戦させてもらったり、小学生とティーバッティングをさせてもらうなどの交流の機会を頂くことで、相互作用を生みだすことができました。また皮の張替えの依頼も多いなか、ゆめハウスでは部分縫いのみになるので、張替えを行っている他事業所と連携をとりながら進める事で連携事業所間の繋がりも深まりました。

2月には、全国各地から集まるエコボール全国集会在三重県桑名市で開催され、利用者2名職員3名で参加しました。利用者さんにとっては、日常と違う時間を過ごしとても良い経験になりました。エコボール事業については、年々連携事業所が増えていく中で情報の共有や一定のルール作りが必要となり、会則作成に向けて検討を進めています。